

知の探究は面白い

皆さん、小中高校と大学では何が違うか、分かりますか。大学では高校よりも難しい勉強をするだけだと考えていませんか。実は、高校までの教育機関と大学は、全く異なる目的で設置されています。高校までは学習指導要領で定められた知識や技能を身に付けるところですが、大学は教育を「受ける」機関ではなく、教員も学生も一緒に新しい知を探究する機関です。絶対的な正解は存在しません。大学の教員は講義や実験などを通じて基礎的なことや専門分野のルールや考え方を学生に伝えますが、その後は学生自身が知と向き合い、対話し、そして新しい知を探究していくのです。

対話となれば受け身ではできません。授業を一方的に聴くのではなく、知的好奇心を基に、図書館で自ら文献や論文を探して読む、相手の意見を聞き、自分

の考えを伝えて議論する、大学を離れてより広い世界で自らの関心に基づき探究する、レポートや論文を書いて自ら発見した新しい知を伝える、といったすべてのことが必要になってきます。新しい知の探究は、時に大変で苦しいことも

あります。しかし同時に、非常に知的で面白いものです。大学には、一人一人が思うように学ぶことのできる自由があります。

長崎大学は毎年、新入生に「長大生のためのラーニングティップス」という冊子を配付し、初年次セミナーなどを通じて、まず

「学び方の学び」を修得してもらってから始めています。長崎大学の図書館やサポーターも、あなたの新しい学び方をサポートしてくれることでしょう。

怖がらず、在学中から広い世界に目を向け、知と対話し、新しい知を探究していただきたいと願っています。



河野 茂

CONTENTS

長崎大学広報誌
[チョーホー]
Choho Vol.72

本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌 Choho vol.〇から」と明記してください。学外の方は、事前に広報戦略本部までご連絡願います。なお、「研究最前線」コーナーについては一切の引用および転載を禁止しております。

学長室だより	知の探究は面白い	1	表紙のはなし 今回の撮影地は、長崎大学のメインキャンパスでもある文教キャンパスの正門前。長崎在住の高校生、受験生の皆さんには、おなじみの風景かもしれません。大学は新しい知を創造する場所です。門をくぐったその先に、どのような知の対話が行っているのでしょうか。
特集	長崎大学で学ぶ 知の対話	2	
サークルの星!	ロケットサークル/Jackpot/ 長崎大学女子端艇部/長崎大学器械体操部	15	
卒業生に聞く	石丸徹郎さん	17	
研究最前線	五島列島に分布 一秒に一回点滅するゲンジボタルを発見 大庭伸也	19	
Information	バーチャル・オープンキャンパス クイズ&編集後記	21	